

# 令和8年度 学力向上強化推進事業

いわき市教育委員会

未来を拓く「いわきの学び」を推進

【目標】

次代のいわきを担う『生きる力』を身に付けた子供の育成

認知能力とともに、非認知能力を重視し、確かな学力の育成を目指す（いわき型全人的教育）

【未来をつくるいわきの学校教育ABCプラン】

視点B Base(ベース) 学校教育の「土台」の部分充実し、学力の向上を図ります

《主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善》

A B Cシートを活用した質の高い授業づくりを推進する。

○いわきの学びづくり訪問

- ・授業づくり支援訪問：指導主事が要請のあった学校を訪問し、授業づくりに参画する。
- ・実践事例発掘訪問：学力向上の好事例を取材し、横展開する。

○いわきのまなびポスター掲示

主体的・対話的で深い学びの授業づくりを児童生徒と共有する。

重点

市内の全中学校区で「小中連携」を重点とした学力向上の取組を展開する。個々の学校の取組から全体を連動させた取組につなげ、地区の組織や仕組みを噛み合わせることで、小・中学校が円滑に接続（中一ギャップを解消）し、学力向上を推進する。

《義務教育9年間の確かな学びをつくる》

○【新】小中連携学力向上推進計画

- ・市内の全中学校区において、中学校と小学校（複数の場合は代表校）が「連携授業研究会」を実施し、授業をもとにした対話、交流から小・中学校をつないだ学力向上を推進する。指導主事が訪問する際には指導助言を行う。

《いわきの学びのさらなる推進》

○【新】いわきの学び推進月間

本市の学力向上に関する各種施策を重点的に実施する期間を11月に位置付けて促進を図る。

- ダッシュボードの提供/分析促進/研修
- PTAとの連携 など

《子供の主体的な学び促進する環境づくり》

○【新】探究活動成果発表コンテスト

- ・探究的な学習成果の発表会を行う。

○【新】英語力向上事業

- ・英検I B A等を活用した授業改善
- ・英語を活用する多様な体験活動等の充実 など

《研修に関する支援》

○他機関との連携による研修

- ・学校のニーズに応じた研修（講師招聘型）  
学校が高等教育機関等から講師を招聘して実施する研修に対しての旅費等の補助を行う。

・【新】授業実践力向上短期派遣プログラム  
（由利本荘市教員派遣研修）

親子都市の秋田県由利本荘市に教員を派遣し、短期研修を行う。

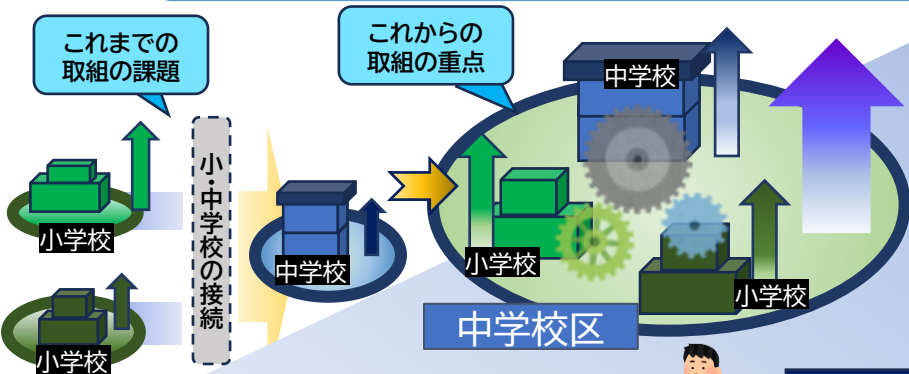
- ・指導主事等による視察研修（指導主事訪問型）  
指導主事が先進地域を訪問し、見識を深め、指導助言に生かす。

○要請訪問

学校の要請に応じて指導主事を派遣する。

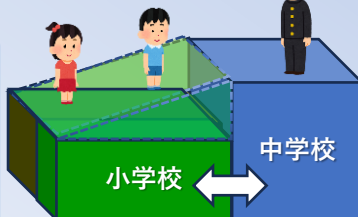
これまでの取組の課題

これからの取組の重点



広域で学校数の多い本市では、各学校の特色を分析し、各校に軸足を置いた学力向上を進め、一定の成果を得てきた。

一方、校種の違いによって生じる小学校から中学校への接続が課題として見えてきた。



9年間を見通した学びをつくる

《エビデンスに基づく学力向上策の推進》

○学校カルテ（学校・学級ダッシュボード）の活用促進

- ・各種調査の分析 ・ダッシュボードの構築と提供
- ・全校対象のデータ活用研修実施

○学力向上アドバイザー訪問

- ・学力向上アドバイザーが全校を訪問してダッシュボードをもとに学力向上策について指導助言する。

《各種事業との関連》

○キャリア教育推進事業

- ICT教育の推進：生成AI利活用の促進 など
- コミュニティ・スクール推進事業
- 学びの習慣づくり事業：放課後の学習機会の提供

《市総合教育センターでの教員研修》

- ・経験年数による基本研修、校務分掌に応じた職能研修、専門性を深める専門研修等を実施

《学力向上チーム》

学校教育課 総合教育センター

- 企画・運営 ○調査・分析 ○教職員への指導・助言
- 他機関との連携（県教委・高等学校・大学・専門機関等）
- 広報活動（アドバイザー通信・HP等） など

# 義務教育9年間の確かな学びをつくる～小中連携学力向上推進計画～

## 小学校に中学校教員が訪問

### 連携授業研究会



## 中学校に小学校教員が訪問

### 連携授業研究会



B小学校の連携授業研究会にはA中学校が参加します

A中学校の連携授業研究会には、B小学校、C小学校が参加します

同じ地域の子どもたちの9年間の学びや成長をともに考える



## 連携授業研究会

「連携授業研究会」は、学区の中学校で1回、小学校(複数の場合は代表)で1回を設定します。研究会の持ち方等は中学校区の実態に合わせて設定します。

実施日には、指導主事等が訪問することもありますので、子どもたちのよりよい学びを一緒に考えましょう。

目的は、中学校区における小・中学校が連携した授業研究の機会を通して、9年間を見通した系統的な学習指導や生徒指導等の改善を推進することです。これにより、小・中学校の円滑な接続(中一ギャップの解消)を実現し、確かな学力を育成につなぐことが期待されます。

地域の子どもたちの9年間の学びを知ることが、学習指導や生徒指導等の改善につながります。「連携授業研究会」は、中学校が義務教育の土台を知る、小学校が義務教育の出口を知る機会です。学区の小学校と中学校が協働・連携しながら子どもたちを育てる文化をつくっていきましょう。

# 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

## 「ABCシート」を基にした授業実践

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を構想する上で、市内小中学校共通で取り組む項目を重点として示し、授業を充実させる。

The image shows a detailed 'ABCシート' (Basics of Active Learning Check Sheet) for lesson planning. It is divided into three main sections: 導入 (Introduction), 展開 (Development), and 終末 (Conclusion). Each section contains specific checklist items for teachers to ensure active learning. The sheet also includes a 'めあて' (Objective) section and a '振り返り' (Reflection) section. The title is 'ABCシート ~ Basics of Active Learning Check シート ~'. There are checkboxes for '単元や本時において、子供たちに身に付けさせたい力を明確にしましたか?' and '単元や本時を通して、子供たちに身に付けさせたい力を育むことができましたか?'.

- 日々の授業改善や校内研修での活用 (授業参観の視点)

## 児童生徒用「いわきのまなび」の教室掲示

「ABCシート」を学習者の視点に置き換えて学習の流れを示し、授業者と児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」の姿を共有することで、自立した学習者を育て、学習を充実させる。

The image shows a classroom display titled 'いわきのまなび' (Iwakima Manabi). It features a large blue arrow pointing right, indicating the flow of learning. The display is divided into three main sections: 1. 'めあてをもつ' (Set objectives) with buttons for 'どうして?' (Why?), '~したい!' (~I want to!), and '~かな?' (~I wonder?). 2. '考える・表現する' (Think and express) with buttons for '自分で' (By myself), 'みんなで' (With everyone), '聞く' (Listen), and '伝える' (Share). 3. 'まとめをする' (Summarize) and 'ふりかえる' (Reflect) with buttons for 'めあてに対して' (Against the objective) and '学習を' (Learning). Below these sections are boxes for '「わかったこと」' (What I learned), '「できたこと」' (What I did), '「がんばったこと」' (What I tried hard), and '「これから〜」' (From now on...). The display is designed to be student-friendly and visually appealing.

- 授業者と児童生徒による学習の流れの共有
- 授業者による折に触れた確認による学習の充実

# エビデンスに基づく学力向上策 ～ 「学校カルテ（学校・学級ダッシュボード）※」の作成・活用～

※以下、「ダッシュボード」

## <導入の目的>

エビデンスに基づく学力向上に取り組むため、教科学力だけでなく、非認知能力や学習方略等についてクロス分析をした結果をグラフや図表にまとめ、各学校において自校の実態（強みや課題）を把握できるようにした。

## <導入の経緯>

### <背景>

学力調査について、学校や学級の実態の違いがあり、市全体の平均で語ってもあまり意味がないとの思い



令和4年度  
「学校カルテ」の作成・提供  
・「ダッシュボード」の前身  
・市教委の自前、1枚紙  
・小6・中3、全国学調

市教委の負担軽減

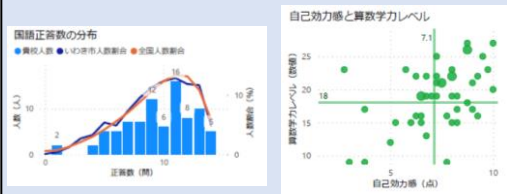
より複合的・多角的な  
分析の必要性

令和5年度～  
「学校カルテ（学校・学級ダッシュボード）」の作成・提供

- ・外部委託
- ・R6：小4～中3へ拡充
- ・全国学調、ふくしま学調、I-SUS

## <特徴>

○「全国学力・学習状況調査」だけでなく、「ふくしま学力調査」、本市独自の「いわき市児童生徒理解アンケート（I-SUS）」のデータに加え、教科学力や非認知能力、学習方略等のより多角的な分析結果を得ることができる。



○平均正答率等の情報に加え、分布図や「インフルエンサー（影響を与えるもの）分析」により、学校・学級の強みや課題の背景の理解や改善の糸口となる情報の把握ができる。

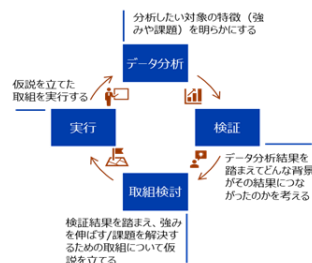


○各学校の各教員で分析データを閲覧することが可能となり、学校の自主的な取組を促進することができる。



## <活用>

### データ活用サイクル



### 令和8年度の主な取組（予定）

- 「ダッシュボード」の作成・提供 → 暫定版（9月：小6・中3）、完成版（11月：小4～中3）
- 学力向上アドバイザー訪問 → 「ダッシュボード」を活用した管理職等との面談による指導助言
- 教育データ活用研修 → 市総合教育センターの職能研修として実施（各学校1名悉皆）

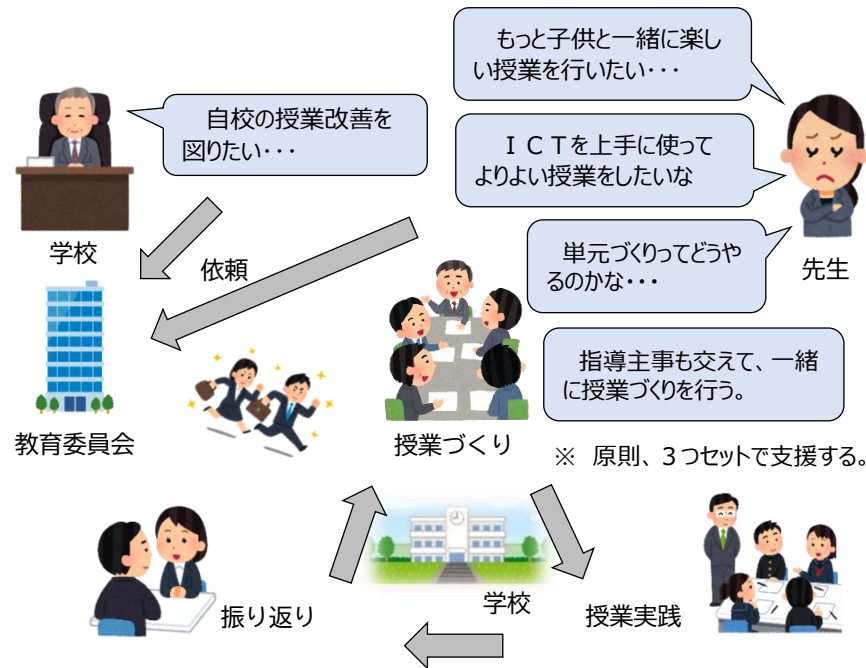


各学校における「データ活用サイクル」の推進による学校運営・学級づくり・授業づくり等の充実

# いわきの学びづくり訪問 ～みんなでつくろう、「主体的・対話的で深い学び」の実現された授業～

いわき市教育委員会指導主事等が市内小中学校を対象に「いわきのまなびづくり訪問」を行い、「A B Cプラン」や「A B Cシート」に基づき、児童生徒の資質・能力を確実に育成するための授業づくりを継続的に支援するとともに、効果的な実践事例を発掘・発信することで児童生徒の学力向上を図る。

## 授業づくり支援訪問



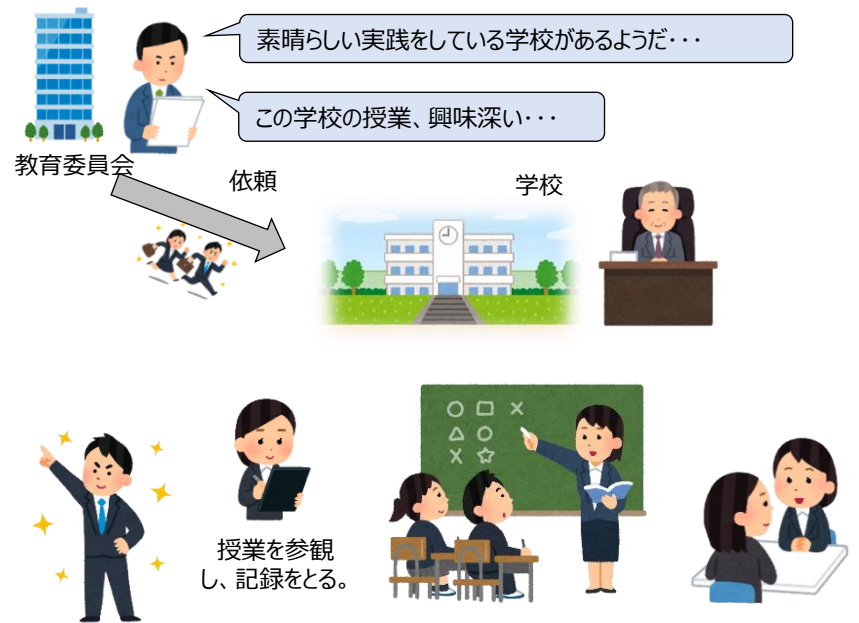
子供の姿から学んだことを一緒に振り返り、今後の授業づくりにいかす。

一緒に作った指導案を基に、実際に授業を行う。

【対象教科】 ○国語 ○算数・数学 ○社会 ○理科 ○外国語・英語

※ 授業づくりにおける効果的な I C T の活用についても支援

## 実践事例発掘訪問



先生方の素晴らしい授業実践から学ぶ。  
そして、そのような素晴らしい取組を「アドバイザー通信」等にて紹介し、市内小中学校に広めていく。

よりよい授業にするためのポイントを話し合う。

# 英語力向上事業

グローバル社会へ

いわき市の次世代を担う

確かな英語力と豊かな国際感覚を身につけた子ども

模擬国連  
子どもみらい会議  
(CIFALジャパン・総合政策部)

英検3級レベル以上の中学生

(R6:34% → R8:40% → R12:60%)

全国平均 R6: 52.4%

## 〈技能別の効果測定〉

### 英検協会と連携した効果測定

- ・検証校3校で英検IBAを実施し、4技能(聞く・話す・読む・書く)別の英語力診断により、生徒の自律的な学習と授業改善を促進
- ・英検準会場を設定し、受験機会の確保と経済的負担の軽減(3級～2級)



## 〈体験活動の充実〉

### パフォーマンスチャレンジ(話す・書く)

- ・児童生徒の興味関心に合わせて挑戦できるイベント

### 海外との交流(聞く・話す・書く・読む)

- ・オンラインなどによる海外都市の小中学生と交流

豊富な実践の機会

↓  
学習意欲の向上  
自律的な学習の促進  
英語力の定着  
国際理解の促進

## 〈自律的な学習の促進〉

### AIを活用した家庭学習

- ・英検IBA検証校に英語学習アプリを導入し、個別最適化された練習の機会を確保

### ALTニュースレター(聞く・書く・読む)

- ・自身の興味関心や英語力に合わせて記事を選び、生きた英語に触れる

## 〈地域と連携した学習支援の強化と外国語授業の質的向上〉

### 英語学習サポーター

- ・英語に堪能な地域人材を活用し、小学校における児童の個に応じた学習を支援
- ・英検IBA検証校の生徒60名を上限にサポーターとALTによる面接対策講座を実施(3級以上)
- ・英検協会と連携して英検準会場を設定し、最適な受検環境を整備(3級～2級)

### 教員の指導力向上

- ・英検IBA検証校の教員などを対象とした専門研修の充実(事前研修・データ活用研修・事後研修)
- ・シェアドライブでの教材共有を通じた小中連携